

住友ベークライト株式会社 2023年3月期 第2四半期 決算説明会
主な質疑応答議事録

日時：2022年11月7日（月）15時00分～16時30分

説明者：代表取締役社長執行役員 藤原 一彦

【全社的な事項に関する質問】

Q：第2四半期の結果に対する評価を教えてください。

A：ある程度は想定の範囲内である。特に高機能プラスチックは7-9月が底と見ており、半導体関連材料の若干の弱含みはあるものの、全体として上期より下期が良くなることは十分にあり得るので業績予想は据え置いた。ただし、セグメント別の中身の数字は現状に合わせて見直している。

【半導体関連材料セグメントに関する質問】

Q：半導体封止材の上期の状況と下期の見通しを教えてください。

A：民生関係用途の減速に対し、第1四半期は何とか持ちこたえたが、第2四半期は落ち込みが止まらなかった。おおよそ底に来たと思うが、下期も大きな回復は見込めない。一方で自動車関係用途は順調である。全体として下期は、数量ベースでは2四半期プラスアルファ程度で進捗すると見ている。

Q：蘇州の新工場の投資判断に至った背景は何か？

A：中国市場もパワー半導体、自動車関係の封止材が伸びてくる。それに見合った対応ができる工場が必要である。半導体市場は今少し落ち着いているものの、回復する時は非常に速い。次の手を今から打っておく必要がある。様々なリスクも検討しながら、段階的に慎重に進めていく。

【高機能プラスチックセグメントに関する質問】

Q：第2四半期の事業利益が大きく落ち込んだ理由は何か？

A：中国における民生用電機部品用途の需要減や欧米における稼働率の低下などが挙げられる。

Q：今期業績予想において下期に回復する要因は何か？

A：中国ロックダウン影響からの回復や自動車生産台数の増加による数量増、原料・エネルギー費高騰の売価転嫁の更なる進展、航空機内装材事業の在米子会社 Vaupell の黒字転化などによる利益増を見込んでいる。

【クオリティオブライフ関連製品に関する質問】

Q：ヘルスケアの売上が伸びている理由は何か？

A：採血キットは、北米の病院環境の新型コロナ禍からの回復による需要増やシェアアップにより伸長、血液バッグについても日本国内で高い評価を得ており、同じ高品質品の需要がアジアでも広がり、拡販が進んでいるのが主な要因である。

以上